

とうこう
投稿

神戸行

菊花含苞神戸行，
轮驱千里畅心情。
耄耋之年几回有，
梦转青春笑人生。

神戸の旅

菊花の蕾ふくらみ神戸へ旅する
車は千里を駆け 心は伸びやか
老齡の身になお何回あることが
夢は青春に帰るも 人生を笑う

【解説】

きく はな つぼみ ぶく かいが がつ しょじゅん こうべ りょこう
菊の花の蕾が膨らんだが、まだ開花しない11月の初旬、神戸へ旅行した。

おおがた ばす の ちようきより い しゃりん けいかい かいてん しゃそう けしき
大型のバスに乗って長距離に行く。車輪は軽快に回転して、車窓の景色
を楽しむ気持ちは大変伸びやかだ。

しち はちじゅっさい ろうじん きかい なんかい
七、八十歳の老人が、旅行に行ける機会はあるだろうか。

老人が、こんなとき夢に見るのは青春時代に帰った姿。夢から覚めれば、それは現実ではない。
しかし、心の中うきうきして、自身の幸せな人生を大いに笑うのである。



(t)

* 詩文(中・日本語)は、基本的に原文をそのまま使用していますが、一部文字等を統一しました。
* 这篇诗(中・日文)基本上保持了原文，为了统一文体，部分文字做了调整。